

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1408
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島工業大学 工学部		開催方法	■オンライン（同時・録画） 基本的には teams でのリアルタイムのオンライン授業ですが、録画対応はできません	
	2. 正式科目名 副題	建築史	配当年次	2 年次	
			受入学年	任意に対応可	
学問分野	番号	31	名称	工学（機械、電気通信、土木、建築など）	
3. 担当教員名	金澤 雄記（建築工学科 准教授）				
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	令和 5 年 9 月 26 日（火）～ 令和 6 年 1 月 16 日（火） 火曜日 8 : 50 ～ 10 : 30				
7. 基礎知識の有無	<input type="checkbox"/> 「基礎知識を必要とする科目」 <input checked="" type="checkbox"/> 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	上級生から受け入れ		
10. 科目内容・授業計画	<p>主に古代から近世までの日本建築史と西洋建築史の内容を取り扱う 1 級+2 級建築士試験問題に対応できるよう基礎知識を得ることと、日本建築史・西洋建築史の各時代の建築の意匠と様式・構造の変遷について理解し代表事例を挙げることができることを授業目標とする</p> <p> ■第 1 回 住宅民家建築 1 原始から中世の民家の発展を理解する ■第 2 回 住宅民家建築 2 中世から近世の民家の発展を理解する ■第 3 回 住宅民家建築 3 近世から近代の民家の発展を理解する ■第 4 回 神社建築 神社建築の形式を理解する ■第 5 回 寺院建築 1 寺院建築の様式を理解する ■第 6 回 寺院建築 2 寺院建築の形式を理解する ■第 7 回 城郭建築 城郭建築の発展を理解する ■第 8 回 移築と復元 移築と復元の建築倫理を考える ■第 9 回 エジプト・オリエント建築 人類最初の巨大建造物を理解する ■第 10 回 ギリシア・ローマ建築 西洋建築史のベースとなる建築様式を理解する ■第 11 回 初期キリスト・ビザンチン・イスラム建築 教会堂の構成とアーチやドームの発展を理解する ■第 12 回 ロマネスク・ゴシック建築 キリスト教の教会堂の発展を理解する ■第 13 回 ルネサンス建築 ゴシックに反発した建築様式を理解する ■第 14 回 バロック・ロココ・リヴァイヴァル建築 ルネサンスに反発した建築様式を理解する </p>				
11. 試験・評価方法	期末試験				
12. 別途負担費用	『コンパクト版建築史』彰国社、2014 年（ISBN : 978-4-395-00876-6）3000 円（税別）を購入することが望ましい（他の建築史の教科書でも可）				
13. その他特記事項	授業は teams で行うためアクセスできること 授業中と事前学習・事後学習でコース管理システムを使用するためアクセスできること 試験は対面で行うため試験日に登校できること				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。